

カロンゴ日記 ～伊藤編～

Part.2 2015年3月20日

こんにちは。3月も半ばになりましたがこちらはまだまだ暑い日が続いています。1月に来た時には昼間の外の気温 40℃ 超え、湿度 10% 程度のカラッとした暑さでした。3月に入り雨季が来たら涼しくなると現地の人に言われながら、今も昼間は 30 度後半、夜でも 30 度はキープしており、湿度のみが 30%—40% まであがり、初めての寝苦しい夜を迎えています。

皆雨季を待っている状況ですが、私は雨季が来ることを恐れています。私の 1 番苦手な生き物バッタが大量発生するからです。他の要員の写真でも良く出てくる七色のバッタです。写真などありません、撮りません。時々外科病棟にも現れ、子供のおもちゃになっていますが、、

私が働く外科病棟では、毎日沢山の患者さんが入院してきます。最近ではマンゴの木からの落下やバイクの転倒による外傷、料理のための薪オーブンによる熱傷が多いです。病院で治療が施されても、とめどなく次から次へと患者さんが来るので、こういう事故自体を減らせないのかなと思っていました。そんな中休日に病院周辺の散歩に出かけ村の人の暮らしをほんの少し垣間見ることができました。



ここへ来て 2 か月、正直病院と家との往復生活でしたので、病院の真裏にこんな景色が広がっているとは思いませんでした。山へと続く 1 本道から子どもたちが水を頭に乗せ降りてきます。時折 2 人乗り、3 人乗りのバイクがすごいスピードで通り抜け、これは転倒するなと納得。



道の脇に人だかりが出来ていたので行ってみると立派なポンプがあり、水を汲み上げていました。水路もあり、整備された水場です。



もう少し行くと、子供達がため池で遊んでいました。木に登っては頭から池に飛び込み、「危ない」とひやひやしながら、「怪我して運ばれて来たらだめよ」と心の中で思っていました。この辺りはビルハルツ住血吸虫がいるらしく、私には決してマネできませんが。写真右は木の下で豚が昼寝をしていました。とても大きな豚で、油ののった肉を欲している私にとって、とてもおいしそうに見えました。カロンゴでは肉といえば、鳥、豚、ヤギが手に入るのですが、油身がなくとても硬いのです。



木から子供の声が聞こえるなと思って見上げると、子供がマンゴーの木に登って実をとっていました。マンゴーの木はかなり大きくて高さ5m位あります。枝に登って揺らしたり、かなり激しく遊んでいて、マンゴーの木から落下し、骨折する人が多いことに納得がきました。しかしこれだけ元気に自然の中で遊べるってすごいなと感心です。子供達には大きな怪我なく大きくなって欲しいなと思います。

